



水通信



2022.6.29 第186号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

水資源機構（旧水資源開発公団）は、令和4年（2022年）5月1日で設立から通算して60年を迎えました。

今後も「安全で良質な水を安定して安くお届けする」経営理念のもと、事業推進に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

60年記念動画を、こちらからご覧になれます。



豊川・木曽川水系30ver.jpg



豊川水系15ver.jpg



木曽川水系15ver.jpg

水資源機構ホームページでも、60年記念事業についてお伝えしていきます。

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya>



目次

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。
各事業所名をクリックすると目次に戻ります。

☆ **【巻頭言】**

- 中部支社 副支社長 花田 弘幸

☆ **【中部管内水源情報】**

☆ [インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』](#)

☆ 《新着情報》

[中部支社](#)

- 明治用水頭首工の大規模漏水への災害支援を行っています
- ツイッターを開設しました
- 「なごや水フェスタ」に参加しました

[豊川用水](#)

- 「530運動環境協議会の活動」に参加しました

[木曾川水系連絡導水路](#)

- 「長良川を美しくしよう運動」に参加しました

[愛知用水](#)

- 王滝村の王滝小学校1、2年生が牧尾ダムに遠足

[木曾川用水](#)

- 木曾川用水濃尾第二施設改築事業が事業認可

[岩屋ダム](#)

- 「アメンボクラブによる水源地保全活動」が行われました
- 「なごや水フェスタ」に参加しました

[阿木川ダム](#)

- 水資源機構設立60周年記念ライトアップ
- 所内防災操作勉強会を開催しました

[徳山ダム](#)

- 非常用洪水吐きゲートの安全点検を実施しました
- 堤体登坂イベントを実施しました

[長良川河口堰](#)

- 船舶安全講習を実施しました
- 地元長島中部小学校が施設の見学会を行いました

[味噌川ダム](#)

- 令和4年度洪水対応演習を実施しました
- 大原地区桜植樹イベント（今年はニセアカシア駆除作業）に参加しました

[三重用水](#)

- 明治用水の漏水事故への災害支援を行いました
- 菰野調整池の直下流赤川の清掃活動を実施しました

☆ **【編集後記】**

- 担当課 中部支社総務部 利水者サービス課

巻頭言

【中部支社副支社長 花田 弘幸】

4月1日付けで中部支社副支社長を拝命しました花田と申します。昨年度は中部支社事業部次長として主に管理業務に携わらせていただきました。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

現在の社会情勢を見ますと、新型コロナウイルス感染症の行動規制が緩和されるなど街の雰囲気も和らいできましたが、依然として注意を払う日常であり、暫くコロナ禍以前の生活様式に戻ることはないと思えます。また、世界的な物流の混乱等に加えウクライナ情勢が追い打ちをかけ、物価が急騰しています。価格高騰が各事業へどのように影響していくか懸念しているところです。

さて、水資源機構は、この4月から今後4年間を目標期間とする第5期中期計画に基づき事業を実施しています。今中期計画におきましても「安全で良質な水の安定した供給」と「洪水被害の防止・軽減」を目指して管理業務に励むとともに、中部支社管内では、愛知用水三好支線水路緊急対策を完成させるとともに豊川用水二期事業、木曾川用水濃尾第二施設改築を着実に進め、計画に沿って整備してまいります。また、近年頻繁に取り上げられる気候変動による異常渇水・異常洪水の発生、地震等による大規模災害の発生、施設老朽化の進行など、顕在化し増大しつつある水に関するリスクに対し、機構の持つ技術力を活かして的確に対応できるよう備えることとします。

事業を進める上で気にかけていることは、国内の少子高齢化社会が一段と進んでいることです。業務の効率化を進めつつ職員の確保・育成を図ることは、これまで以上に重要な取り組みになっていると感じています。専門的な知識と危機管理に対する十分な能力と豊富な経験を有する職員を育成し、定着させ、その能力を十分に発揮させる環境作りが大切です。加えてデジタル技術を活用する専門人材の確保・育成及び機構職員全体のITリテラシーの向上も図る必要があります。一方、職員の生活にも目を向けて、働き方改革を推進し、生産性や業務効率の向上を図ることで、ワーク・ライフ・バランスの実現に皆で努力することが必要と考えます。

「人は宝なり」と申します。人を募り、募った人を育て、育った人が働きやすい環境を作り、自ら工夫して効率的な働き方を見つけられるようなことを目指していければと思います、今後の4年間に励んでまいります。



中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける6月28日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曽川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の6月降雨量は平年を下回る状況（平年比33%～45%）となっており、4ダム合計の貯水率は82%（平年比97%）と、平年を下回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの6月降雨量は、平年を下回る状況（平年比74%～77%）となっており、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は70%（平年比88%）と平年を下回る貯水状況となっています。

東海地方では27日に過去2番目に早い梅雨明けとなりました。

一方で、今後も水需要が多い時期が続きます。天気が良く、暑い日が続いていきますので、引き続き、気象・貯水状況に注視していきます。

中部管内各ダムにおける6月の降雨及び利水貯水率（6月28日現在）単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	33	36	41	45	74	77	54	56
利水貯水率	55.8	84.8	99.2	100	60.6	69.2	76.4	100
（平年比）	(77.0)	(95.5)	(102.2)	(112.6)	(82.6)	(78.2)	(96.1)	(100)

- 中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。
中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

◆リアルタイム情報

<https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

◆中部管内の水源状況（平日更新）

<https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou04-1.html>



インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行う『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載しています。

今回は、岩屋ダム管理所で現場技術業務に従事されている金田和美さんに、これまでの経歴や業務内容等について、お話を伺いました。



<Profile>

金田 和美 Kazumi Kaneda

株式会社アクアテルス名古屋支店

昭和 55 年 土木会社 入社

平成 5 年 測量・コンサルタント会社 入社

平成 5 年 徳山ダム建設所 現場技術員

平成 24 年 木曾川水系連絡導水路 現場技術員

令和 2 年 愛知用水総合管理所 現場技術員

令和 3 年 岩屋ダム管理所 現場技術員、現在に至る

金田さんは、長い間、現場技術員として従事されていますが、始めに建設業を志した理由についてお聞かせください。

——大手電機会社に就職するつもりで工業高校に入学しましたが、父親に土木業を手伝ってほしいといわれ、大学で土木工学科に行くことを条件に専門知識を学びました。

大学卒業後は、「外の飯を食べてこい」ということで、地元岐阜県の土木会社に3年間お世話になる形で就職しました。

しかし、1年と経たないうちに父親が脳梗塞で倒れたため、家業に戻りました。

私を含めて4人の零細企業でしたが、地方自治体の発注工事の指名は受けていたので、小規模工事の経理、工事監督、測量、重機のオペレーター、型枠工、鉄筋工など、全てをこなしてきました。

町の基盤整備が進むと発注量も減り、下請け1本で行こうとも思いましたが、職人の高齢化等を考え、職人の身の振り方を世話した後、34歳の時に測量・コンサルタント会社に就職しました。

土木業を13年間、水資源機構の現場技術員としてトータルで24年間、土木設計2年間、営業で2年間、全て建設業に携ってきました。

現場技術員という立場で勤務されていますが、何がきっかけだったのでしょうか。

——転職による成り行きで、測量・コンサルタント会社に入社の際に、徳山ダム建設所の現場技術業務もあると聞いていましたが、好きな測量ができると思った矢先、現場技術員として出向することになりました。

徳山ダム建設所では、大学生の時に卒論を兼ねて材料試験室でアルバイトをしていたこともあり、因果因縁、不思議な気分になりました。

具体的にどのような業務を担当されてきたのでしょうか。

——徳山ダム建設所では、第一調査設計課で主に堤体材料関連を3年間、空中電磁法解析による材料採取計画、原石山横坑調査、コア山縦坑調査などの積算業務補助、材料試験結果のとりまとめに携りました。その後環境関連で14年間、ダム周辺の動植物調査、工事前後の環境巡視、湿性環境の代替地の創出など土木業と離れた業務経験をしてきました。

木曾川水系連絡導水路建設所は5年間、事業評価、事業再算定、代替案の検討など事業検証について携りました。

愛知用水総合管理所で1年間、支線水路機能保全の効率的な維持管理のための資料作成を行いました。

岩屋ダムでは、ダム管理日報データの確認整理、河川・堤体巡視、ダムの維持管理、修繕の補助業務で現場監督や図面修正、数量計算等の資料を作成しています。

豊富な業務経験をお持ちですが、どんな時にやりがいを感じますか。

——土木業をしていた時は、図面通りに物を作る喜びと、現況に合わないときの工夫をして、地球に彫刻するイメージでワクワクしました。

現場技術業務では、徳山ダムという国家プロジェクトの設計から完成、試験湛水・運用までに携れたことは一生涯の誇れる経験となりました。地図に残る仕事、形の残る仕事にやりがいを感じます。

他の組織の勤務で、ストレスが溜まりませんか。苦勞することがたくさんありそうですが、どうですか。

——特殊な職務でない限り、社会に出れば人とのかかわりを避けることはできません。出向に関しては、機構職員方が出向者の扱いに慣れており、ストレスの少ない良い環境の職場に着けて、ラッキーだったと思います。また、同業技術員の方にも大変良くして頂けました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

私が出向した時代は、事務所全体や課内、趣味の集まり等で、月に1回は何らかの親睦会が行われていました。いわゆる「飲みにケーション」が楽しめる情勢で、私はこれでかなりのストレスを解消できていたと思います。思い返すと楽しいことばかりです。

今のストレス解消は、月に2回の溪流釣りに行き自然を満喫することです。

私はかなりマイペースな人間なので、「努力＝苦勞」と思っています。次世代の若者に言いたい、苦勞はするな、努力せよ。

技術者として大切にしていることはありますか。

——測量や設計していた時は、実際に使い勝手の良い物が出来たか心配になります。

想い描いていた形になっているかを工事完成後現場に行き、周辺に溶け込む景観になっているか、現地状況にあった線形になっているかを見て回りました。

とにかく完成したものを見に行き、そこから反省点を見出すことを大切にしています。

これまで培ってきた経験を今後どのように役立てたいとお考えですか。

——平成9年の河川法改定により治水、利水、環境の整備と保全が位置付けられ、徳山ダム工事もそれに倣って、環境への配慮をしつつ工事を行うことを遵守する事が必携となりました。

特に印象深かったのは、環境アセスメント対象外事業にもかかわらず、環境影響評価書を作成したこと、貴重猛禽類の保全対策、植物貴重種の移植、モニタリング調査の実施に於いて現地調査に行けたことで貴重な体験ができました。

環境問題は、工事と切り離して考えることができない時代です。これらの知見は、報告書や技術論文になっているので参考にされればと思います。

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに応じていただける方を募集しておりますので、ご協力の程よろしくお願ひ致します



■岩屋ダムの点検放流



■徳山ダムの点検放流



ブレイクタイム ことわざ

【 使っている鍬は光る 】

・常に努力している人は生き活きとしていて、他の人とは自然と違って見えるという意味

《新着情報》

中部支社

○ 明治用水頭首工の大規模漏水への災害支援を行っています

愛知県豊田市の明治用水頭首工で発生した大規模な漏水事故に対して、5月17日（火）に東海農政局から排水ポンプ車の派遣要請を受け、排水ポンプ車等を現地に派遣し、緊急取水のための物的支援を行っています。

その後、東海農政局から当機構への、人的支援要請を受け、6月1日本社に緊急災害対策支援本部、中部支社に緊急災害対策支援現地本部を設置しました。6月3日から緊急災害支援隊として本社、支社、中部管内事務所の職員（8名）を土日も含めた毎日、現地に派遣し、支援体制を強化しています。

支援隊は、仮設ポンプの維持管理（撤去・再設置、破損したポンプ・ホースの交換等）、農業用水の受益地域において巡回点検（用水の到達確認、漏水箇所の把握）、空気弁の漏水対応等を継続実施しています。

なお、当機構が中部支社管内で管理しています5箇所の明治用水頭首工と同様の施設で点検を行いました。いずれにおいても異常は確認されていません。



■ 仮設ホースの維持管理



■ 空気弁の漏水対応

○ ツイッターを開設しました

6月2日（木）、中部支社のツイッターを開設しました。中部支社管内の施設の情報などを発信しています。みなさまのフォロー、お待ちしております。

中部支社のツイッターアカウントは（@jwa_CHUBU）です。右横のQRコードからもご覧いただけます！



また、中部支社管内の事務所においても、ツイッターやっています。ぜひ、こちらも見てください。そして、フォローもお願いします！

- ・ FIVE ROCK 'S (@jwa_FIVEROCKS)
- ・ 徳山ダム管理所 (@jwa_tokuyama)
- ・ 長良川河口堰管理所 (@jwa_nagara)
- ・ 岩屋ダム管理所 (@jwa_IWAYA)
- ・ 豊川用水総合事業部 (@jwa_TOYOGAWA)



○ 「なごや水フェスタ」に参加しました

6月5日（日）、名古屋市上下水道局が主催する「なごや水フェスタ」に水資源機構のブースを設け参加しました。

このイベントは、名古屋市上下水道局が水道週間（6月1日～7日）の間に毎年開催してきたイベントで、新型コロナウイルス感染予防の関係で3年ぶりに会場の鍋屋上野浄水場において、施設見学、各自治体等が設けたブースによる展示等が行われました。



■水資源機構の展示ブース



■配布した下敷きと缶バッジ

水資源機構は、名古屋市に水道用水を供給している水源として岩屋ダム、味噌川ダム、徳山ダムのブースを設け、パネル展示など各ダムの特徴を生かし、流木で作成したコースター等の配布をしました。中部支社では、来場者にアンケートを記入していただき、自主作成した下敷き、3ダムの缶バッジを配布しました。

当日参加した水資源機構のスタッフは、久々の対面イベントであり緊張と期待の連続で、終了後はくたくたになっていました。

参加した各管理所においても展示の詳細を掲載しております。

このイベントを主催された名古屋市上下水道局のスタッフの皆様におかれましては、終息が見えないコロナ禍の中、万全の感染予防対策をとりながらの開催となり、ご苦労さまでした。早く通常のイベントが開催できるようお祈り申し上げます。



■アカハライモリ

豊川用水総合事業部

○ 「530運動環境協議会の活動」に参加しました

530運動環境協議会（愛知県豊橋市）は、恵み豊かな環境を次の世代に引き継ぐため、530（ゴミゼロ）運動の普及及び実践活動並びに各種啓発活動を通して、環境美化及び資源の有効活用に対する市民意識を高め、もって環境に配慮したまちづくりの実現に寄与するために、平成14年4月1日に従前の環境4団体（530運動推進連絡会、牟呂用水美化サークル、豊橋市省資源エネルギー推進協議会、豊橋市ごみ減量推進協議会）が統合して発足しました。

今回、水資源機構豊川用水総合事業部では次の活動に参加しましたので報告します。

今後も、こうした地域活動へ積極的に参加することで、地域とのつながりを強化するとともに、地域に貢献できる組織を目指していく所存です。

★ 汐川干潟クリーンアップ大作戦

5月28日（土）、汐川干潟（豊橋市）にて、動植物の生息地の保全及びプラスチックごみによる海洋汚染の解消を目的としてゴミ拾いを実施しました。

この干潟にはハクチョウも飛来します。多くのハクチョウが飛来してくれるような、きれいな汐川干潟を未来へ残したいという思いで、豊川用水総合事業部職員を含む約150人が参加し約580kgのゴミを回収しました。



■ 汐川干潟にてゴミ拾い活動

当日は快晴でとても暑い中での作業となりましたが、汐風が心地よくリフレッシュできた1日となりました。

★ 春の530運動

5月30日（月）、豊川用水総合事業部と豊川総合用水土地改良区の職員が共働して、牟呂用水沿い及び豊橋公園周辺のゴミ拾いを実施しました。

この活動は、「自分のゴミは自分で持ち帰りましょう」を合言葉に美しいまちづくりを進める530運動のひとつとして、例年、春と秋に全市一斉に開催されております。

ゴミ拾いには総勢33名が参加しました。燃えるゴミ4kg、その他のゴミ3kgと思つた以上にゴミが少なく、昭和50年から続く530運動の成果ではないかと感じられました。また、こうして“ゴミを拾う”ことで“ゴミを捨てない”という気持ちが一層強くなりました。



■ 530運動作業前事務局説明

木曾川水系連絡導水路建設所

○ 「長良川を美しくしよう運動」に参加しました

4月17日（日）、岐阜新聞社・岐阜放送が主催する今年度第1回目の「長良川を美しくしよう運動」に参加しました。

この清掃活動は、1973年（昭和48年）に始まり、例年は年3回（春、夏、秋）行われている活動ですが、今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響から、昨年4月以来の開催となりました。

当日は、長良川の景観を守ろうと、地域住民や企業など約3,600人が参加し、鵜飼大橋から忠節橋までの約4kmの区間について、朝7時頃から1時間程かけて清掃を行いました。

当建設所からは職員3名が参加し、参加者の皆さんとともに、汗をかきながらタバコの吸い殻や空き缶等を拾い集めました。今後も、この活動を通じて長良川の美化に貢献していきます。



■当建設所から職員3名が参加



■タバコの吸い殻や空き缶等を収集



愛知用水総合管理所

○ 王滝村の王滝小学校1、2年生が牧尾ダムに遠足

4月21日（木）、愛知用水の水源である牧尾ダムに、遠足で地元王滝村の王滝小学校1年生と2年生と先生の7人が来られました。

天気予報では、前日まで雨の予報が出ていましたが、当日は雨も降らず無事遠足は行われました。

この遠足は小学校に集合して、その後、近くから道路を歩いて牧尾ダムに来て、牧尾ダムの公園で「季節の移り変わりや、春の自然を肌で感じる」、「1・2年生と一緒に遊んだり、桜の花を楽しんだりして仲良しになる」ことを目的として行われています。

牧尾ダムの公園は、当日、ちょうど桜が満開で、花見をしたり、公園を走り回ったり、ゲームをしたりといっぱい楽しんでいました。

牧尾ダムでも、来所記念にダムカードをプレゼントするなどして、小学校に入学したばかりの1年生には、良い思い出になったのではないのでしょうか。



■桜が満開の牧尾ダム公園にて



■花見をしている小学生



ブレイクタイム 四字熟語

【力戦奮闘（りきせんふんとう）】

・勇気を奮って力いっぱい戦うことや、困難な中でも一生懸命努力していること。

木曾川用水総合管理所

○ 木曾川用水濃尾第二施設改築事業が事業認可

海部土地改良区をはじめ地元農業関係者皆様の長年の悲願でもありました支線水路の改築を行う『木曾川用水濃尾第二施設改築事業』が認可されました。

事業認可にあたりましては、事業制度創設をはじめ、事業評価、予算要求などにおいて国、愛知県、関係市町村、海部土地改良区及び各市町村の土地改良区の皆様方から格別なご支援、ご協力を賜り、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

濃尾第二施設の支線水路は、通水開始から40年以上が経過し、地盤沈下や経年の影響により、支線水路における通水能力の低下、揚水機場における配管の変位、建屋の劣化、ポンプ・受変電設備の突発的な故障、吸水槽における側壁・余水吐の余裕高不足等、施設の機能低下が顕在化していました。

これら課題解決のため、地元からの強い要望と関係する皆様のご尽力により令和3年度には機構営事業においても地盤沈下対策を可能とする事業制度が創設されました。このことから、令和4年度新規着工地区として予算要求を行い、昨年末には概算決定を受け、令和3年12月27日農林水産大臣への認可申請を行い、令和4年4月14日に事業認可をいただきました。

本事業は、令和4年度から令和18年度までの15ヶ年の期間で実施しますが、円滑な地元調整のもと計画的に進めていく必要があります。併せて、海部地域では、『県営地盤沈下対策事業 木曾川用水2期地区』も同時着手されることから、愛知県とも連絡調整を密にして進めてまいります。引き続き、関係する皆様のご理解、ご協力の程、よろしく願いいたします。

【事業概要】

事業名： 機構営木曾川用水濃尾第二施設改築事業

工事概要： 支線水路 17路線(延長 約64km<うち石綿管 約54km>)の管水路更新等
揚水機場 22機場の改築(電気設備等更新、吸水槽改築、ポンプ更新等)

事業工期： 令和4年度～令和18年度

総事業費： 約350億円

推進室の所在地： 愛知県弥富市鎌倉町95番地 海部土地改良区会館2階



また、この事業認可により、本格的に事業に着手することとなることから、事業認可翌日の4月15日には、機構において、木曾川用水総合管理所 濃尾第二施設改築事業推進室 を発足させました。

同事業を円滑かつ確実に進捗させるため、海部土地改良区のご理解のもと、弥富市内にある海部土地改良区会館2階に事務所を開設することとしました。

令和4年5月11日、同所において、中野海部土地改良区理事長、岡田愛知県海部農林水産事務所長にご臨席を賜り、関係者約20名により、開所式を行いました。

令和4年5月22日（日）には、当該事業が本格的に始動することを記念して、海部土地



■看板披露

（左より）藤井室長、岡田愛知県海部農林水産事務所長、中野海部土地改良区理事長、桑原中部支社長、齊藤木曾川用水総合管理所長

改良区主催で起工式典が開催されました。

起工式典は、津島市にある津島市文化会館大ホールにて、関係者約430人が出席し、同土地改良区管内で実施される（独）水資源機構営「濃尾第二施設改築事業」及び愛知県営「地盤沈下対策事業 木曾川用水2期地区」の2事業の起工を記念して盛大に開催されました。

当日は、海部土地改良区浜田名誉理事長の開式の辞、同中野理事長の式辞、愛知県大村知事（代理：古本副知事）、水資源機構金尾理事長（代理：日置副理事長）による事業者挨拶、愛知県海部農林水産事務所岡田所長、木曾川用水総合管理所齊藤所長の事業説明が行われました。続いて来賓の国会議員の皆様からは、祝辞を頂き、起工式典への祝辞のほか、機構の新規制度創設に対する感謝、機構営事業と県営事業が着工に至ったことに対する関係者の皆様への感謝、工事の安全と円滑な進捗祈願などが述べられ、全国土地改良事業団体連合会会長などからの祝電も紹介されました。



■式辞を述べる中野理事長



■愛知県 古本副知事



■水資源機構 日置副理事長

また、愛知県議会、関係する市町村長・市町村議会（稲沢市、津島市、愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村）の皆様にも来賓頂き、ご紹介ののち、最後は海部土地改良区日比野職務代理者の閉式の辞があり、この盛大な起工式典は閉会となりました。

岩屋ダム管理所

○ 「アメンボクラブによる水源地保全活動」が行われました

名古屋市上下水道局のモニター経験者であるアメンボクラブの方々による水源地保全活動が、5月24日（火）に岩屋ダム貯水池湖岸周辺にて行われました。

この活動が行われるのは、3年ぶりとなります。当日は、天候にも恵まれ、総勢15名でアセビの植樹を行うとともに、近傍の卯野原神社周辺の美化活動も行われました。

岩屋ダム管理所では、植樹活動のサポートを行う傍ら、現地への移動の合間に展示館にて岩屋ダムの役割等を説明しました。

アメンボクラブの活動にご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



■卯野原神社周辺の美化活動の様子



■アセビの植樹の様子

○ 「なごや水フェスタ」に参加しました

6月5日（日）に3年ぶりに開催された「なごや水フェスタ」に参加しました。

この催しは、名古屋市上下水道局が水道週間に併せて開催したもので、水資源機構に設けられたブースでは中部支社、味噌川ダム、徳山ダムと共同で各事業の説明パネル等の展示を行い、名古屋市の水源地である各ダムの役割等を知っていただく良い機会となりました。

また、岩屋ダム貯水池から回収した流木の配布は大変好評で、子供から大人まで沢山の方にお持ちいただきました。



■ 展示したパネルの一部



■ 配布するダム湖から回収した流木

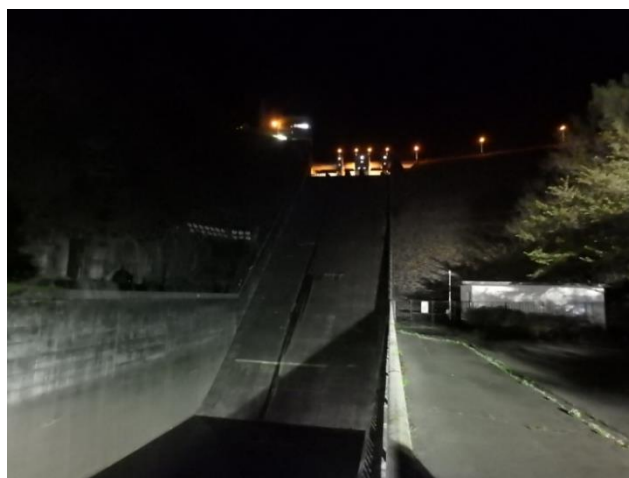
阿木川ダム管理所

○ 水資源機構設立60周年記念ライトアップ

水資源機構設立60周年の記念日となる5月1日（日）19時～21時に、ダム堤体上流面及び洪水吐きゲートのライトアップを行いました。地元紙が案内を掲載したこともあり、多くの家族連れやカップル等が訪れ、公園広場、管理用道路、堤頂などから夜景を楽しんでいました。



■ 堤体上流面のライトアップの状況



■ 洪水吐きゲートのライトアップの状況

○ 所内防災操作勉強会を開催しました

6月1日（水）から洪水期を迎えるにあたり、防災操作の技術力確保のために、所内防災操作勉強会を開催し、ダム管理用制御処理設備の操作確認、下流巡視訓練、予備発電機起動操作訓練、洪水吐きゲート機側操作及び放流前点検訓練、ダム操作支援システムの操作確認等を行いました。

引き続き適切な防災操作を実施して参ります。



■ 予備発電機起動操作訓練



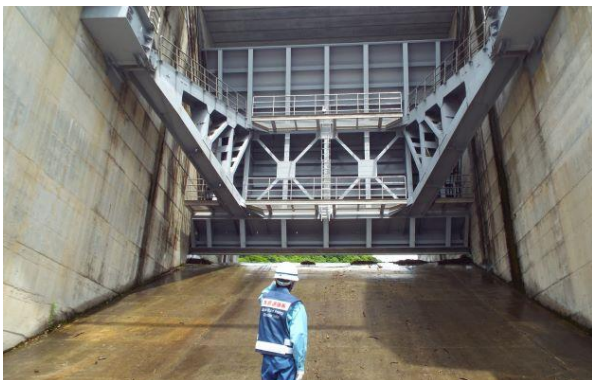
■ 洪水吐きゲート放流前点検訓練

徳山ダム管理所

○ 非常用洪水吐きゲートの安全点検を実施しました

徳山ダムでは、洪水期（6月16日～10月15日）を迎える準備として、6月1日（水）～3日（金）に非常用洪水吐きゲートの安全点検を行いました。

ゲート設備を始めとし、各設備が適切に作動するよう日頃から点検に努めて参ります。



■ 洪水吐きゲートの目視点検の様子



■ 洪水吐きゲートの全開の様子

○ 堤体登坂イベントを実施しました

今年度から試験的に実施している堤体登坂体験が6月3日（金）に行われ、地元揖斐川町の北方小学校の児童24人が元気いっぱい徳山ダムの堤体を登りました。

スタート地点からゴールまでは距離約504メートル、高低差134メートルのコースで、安全対策を十分に行ったうえで、3つのグループに分かれて行われました。

児童たちは、励まし合いながら途中で休憩をとりつつ時間をかけて登りきりました。登頂後は、児童たちから感想として「楽しかった」、「苦しかった」等たくさん聞かせてもらいました。

今回の内容等をもとに、今後の参考としていきます。



■登坂前に気合いを入れる児童たち



■登坂開始の様子



■ゴール目前まで登ってきた児童たち



ブレイクタイム ことわざ
【 夜明け前が一番暗い 】

・ 苦しい状況から抜け出す前が一番苦しく、それを乗り越えれば
事態は良くなるという意味。

長良川河口堰管理所

○ 船舶安全講習を実施しました

6月9日（木）に外部講師を招き、船舶安全講習を実施しました。

長良川河口堰管理所では、管理開始以降、管理施設の状態確認及び河川の水質・水面状況の把握や異常の早期発見を目的として、職員による水面パトロールを実施しています。そのため、当管理所に勤務する職員を対象に安全な船舶操縦技術の向上並びに安全航行を行うため、毎年本講習会を実施しております。

本講習会では、座学にて安全な操船技術や船長心得についての講義を受け、その後、実技にて装備品各部の操作方法やボートの操縦方法（周囲の安全確認、離着岸、落水者対応、ロープワーク等）について訓練を行いました。

安全な操船に対する意識をより一層高く持ち、職員一同安全な操船に努めて参ります。



■実技講習の様子

○ 地元長島中部小学校が施設の見学会を行いました

6月10日（金）に桑名市長島町にあります長島中部小学校4年生74名と教職員4名が防災学習の一環として長良川河口堰及びアクアプラザながら館に来られました。新型コロナウイルス感染対策として3班に分かれ、アクアプラザながら館内や管理橋、魚道観察室を見学しました。魚道観察室では、多くの魚を見ることができ、生徒の皆さんは食い入るように魚の様子を観察していました。

また、防災学習の一環で来所されたということで、シアタールームや管理橋での説明の際は、河口堰の役割や歴史について、職員に積極的に質問をするなど熱心に学ぼうとしている姿が印象的でした。



■魚道観察室見学の様子



■長良川河口堰についての概要説明

味噌川ダム管理所

○ 令和4年度洪水対応演習を実施しました

味噌川ダム管理所では、毎年出水期前に大雨・台風等の災害時に適切な対応がとれるよう洪水対応演習を実施しています。今年度も、4月25日（月）～26日（火）にかけて洪水対応演習を行い、これからの梅雨・台風シーズンの大雨に備え、ダム湖の水位上昇による出水を想定し、各職員が分担して関係機関との連絡調整や河川・警報局巡視を実施し、緊急時においても正確かつ迅速な行動ができるよう訓練しました。



■ 災害時の職員の分担、連絡体制の再確認



■ 現地での確認訓練

○ 大原地区桜植樹イベント（今年はニセアカシア駆除作業）に参加しました

5月8日（日）、味噌川ダム管理所がある木祖村の大原地区にて、桜の植樹イベントが開催され、味噌川ダム管理所からは7名の職員が参加しました。今年の作業内容としては、桜植樹エリアに自生するニセアカシアの駆除作業で、あらかじめ切断されたニセアカシアの切口一つひとつに除草剤を噴射していくという作業を行いました。暖かい日差しの下、職員含む参加者一同で手分けしながら一生懸命作業しました。



■ 作業に参加した機構職員

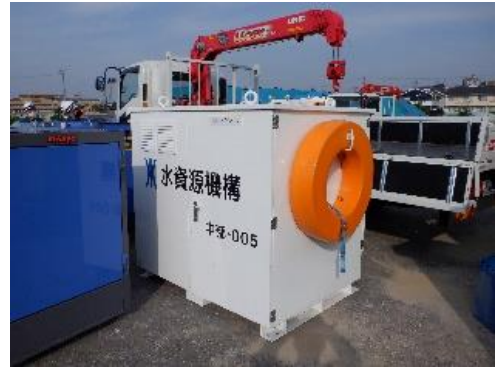


■ ニセアカシアの駆除の様子

三重用水管理所

○ 明治用水の漏水事故への災害支援を行いました

令和4年5月に発生した豊田市の明治用水頭首工の大規模漏水に伴い、東海農政局から水資源機構の備蓄資機材（ポンプ車及びポンプパッケージ）の派遣要請がありました。このため、水資源機構中部管内の各事務所に配備しているポンプ車等を現地へ持ち込みました。三重用水管理所からも職員が緊急出動し、配備されているポンプパッケージ（10m³/min）を2セット現地に持ち込みました。



■ 応援出動したポンプパッケージ

○ 菰野調整池の直下流赤川の清掃活動を実施しました

5月19日（木）、三重用水管理所では、ホタルの飛翔シーズンに備えて、菰野調整池（きらら湖）直下流の赤川沿いの清掃・除草作業を行いました。

この取り組みは、赤川において環境保全などの地域活動を行っている「マこもの里自然に親しむ会」と協働で例年5月、7月、9月の年3回実施しているものです。

三重用水管理所では、ホタルをはじめとする水辺の生物の生息の場を守るため、引き続き環境保全活動に取り組んでいきます。



■ 作業前の全体説明の様子



■ 赤川の清掃作業の様子

編集後記

【担当課：中部支社総務部 利水者サービス課】

今年は、東海地方では、6月14日と例年より8日遅い梅雨入りだったのにもかかわらず、6月27日に梅雨明けが発表されました。梅雨明けは例年より20日早く、過去2番目の早さとのことです。この地方では、現状、直ちに渇水が懸念される状況ではないですが、これから水需要が高まる時期ですので、注視していく必要があります。また、ここ数年、集中的に大量の降雨が発生する状況が続いていることから細心の注意を払い、対応しなければならないものと考えています。各施設を効率的かつ的確な運用により、洪水被害の軽減に努めて参りたいと思います。

また、先月、明治用水頭首工で大規模な漏水事故が発生したところです。当機構では、排水ポンプ車や人的な支援を行っています。機構でも同種の施設を管理しており、点検で異常は確認されていませんが、今一度、気を引き締め直し、適切な管理に努めて参ります。

一方、新型コロナウイルス感染症拡大も一頃の勢いは弱まり、来月の大相撲名古屋場所も3年振りに通常どおりの開催を行うなど、これまでの日常生活が戻りつつあります。当機構でも、近年、開催できなかった各種イベントを、万全の対策をとりつつ、再開できるよう、検討しています。皆様や地元の方々との交流が、コロナ前のようにできる日が来ることを心待ちしているところです。



今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

[mailto: chubu_water@water.go.jp](mailto:chubu_water@water.go.jp)

『第187号は、8月下旬に発行する予定です。』
バックナンバーをご覧になりたい方はこちら

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/mizutsuushin/mizutsuushin.html>



☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社：	https://www.water.go.jp/chubu/chubu/
豊川用水総合事業部：	https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/
木曽川水系連絡導水路建設所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/
愛知用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/
木曽川用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/
岩屋ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/
阿木川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/
徳山ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/
長良川河口堰管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/nagara/
味噌川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/
三重用水管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/

発行者：水資源機構中部支社